

【 議 事 7 】

令和5年度下関市地域公共交通計画策定業務
の発注について

1. 下関市の公共交通の概況

2. 下関市の公共交通の課題

3. 持続可能な公共交通の構築に向けて

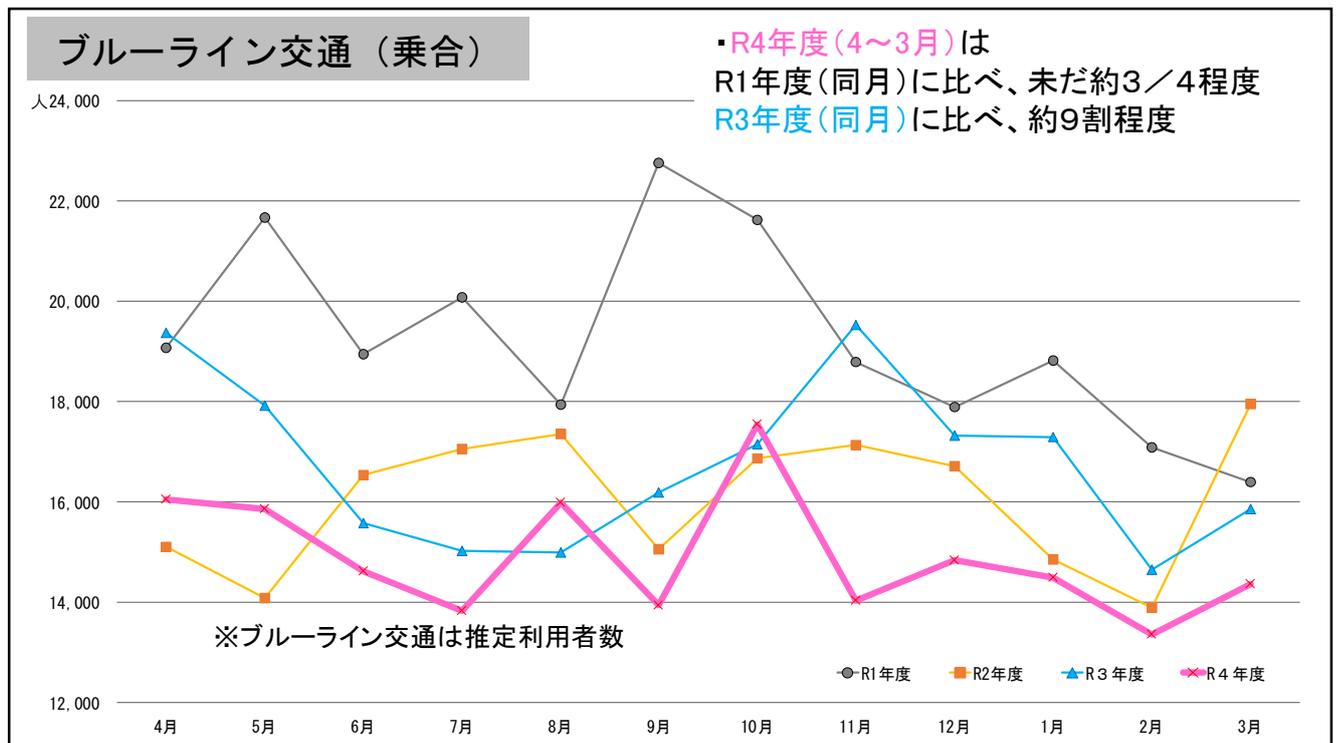
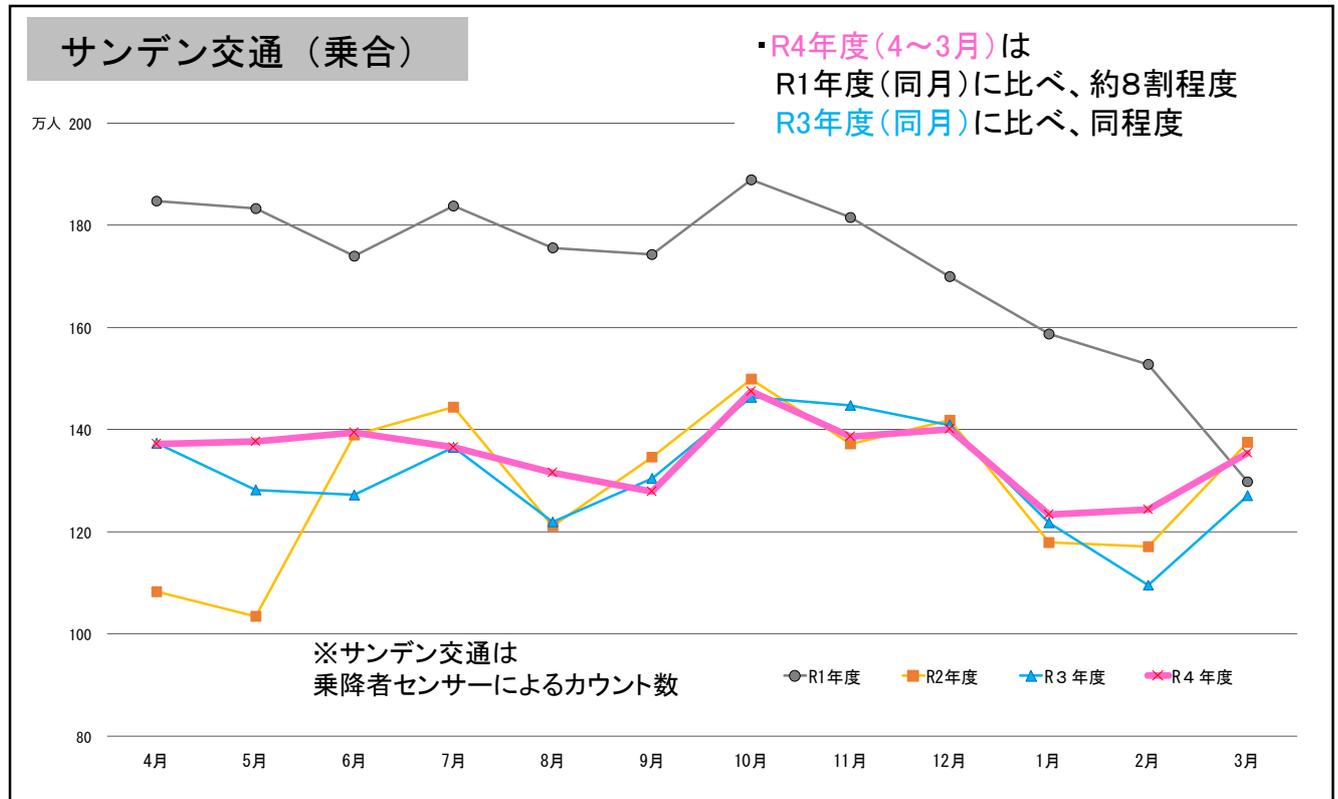
1. 下関市の公共交通の概況

○市内の公共交通網図



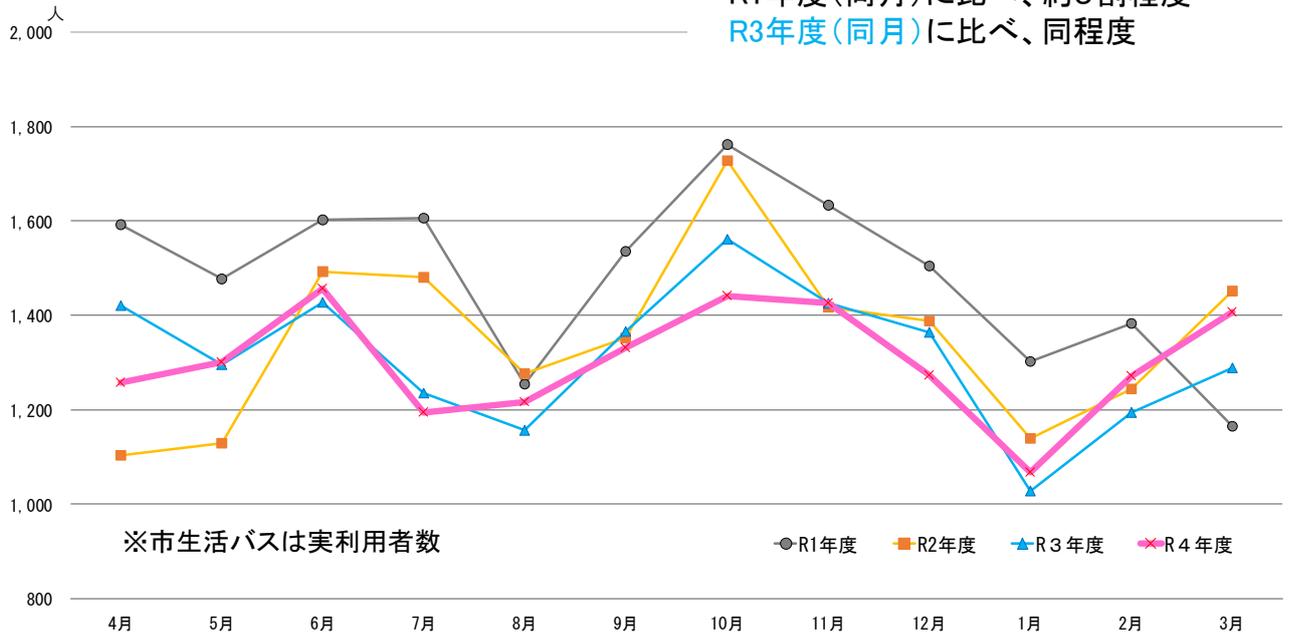
○路線バスの状況について

主に市内を運行するバス交通（サンデン交通、ブルーライン交通、市生活バス）における、コロナ前から現在までの輸送人員の推移



生活バス

・R4年度(4~3月)は
R1年度(同月)に比べ、約9割程度
R3年度(同月)に比べ、同程度



※市生活バスは実利用者数

● R1年度 ■ R2年度 ▲ R3年度 × R4年度

○現在の計画等の策定経緯、進捗状況

《経緯》

- ・本市の公共交通は、自家用車の普及や人口減少により、利用者が減り、収益の悪化から公共交通の維持が困難な状況
- ・公共交通は、市民の生活に必要な移動手段であり、将来にわたり維持・確保していく必要がある。



◆下関市総合交通戦略（下関市地域公共交通網形成計画）

【計画策定】平成30年3月

【計画対象期間】平成30年4月1日～令和10年3月31日（10年間）

- ・戦略の施策の一つとして、特にバス事業に特化したもの
- ・利用実態に応じた路線の見直しなど、運行効率化と利便性向上
- ・持続可能な路線網とサービスの確立を目指す



◆下関市地域公共交通再編実施計画

【計画策定】令和2年8月

【計画対象期間】令和2年10月1日～令和7年9月30日（5年間）

《進捗状況》

- ・令和2年度 利便性向上の施策として交通系ICカードを導入
- ・令和3年度 通院や買い物の利便性向上のため、循環路線を新設、重複路線の解消や長距離路線の分割を実施
- ・令和4年度以降
車両の小型化による効率的かつ利便性の高い運行や、長距離路線の分割などを検討し、実施していく予定

2. 下関市の公共交通の課題

- ・ 人口減少や高齢化の進行、過度な自動車への依存により、公共交通の利用者は減少傾向
- ・ 利用者減少は交通事業者の収益低下を招き、廃止・減便が進む
それがさらに、利用者の減少を招くという悪循環
- ・ 利便性の高い公共交通サービスを安定的に供給するには、
 - ▶ 誰もが利用しやすい公共交通サービスの提供
 - ▶ 公共交通の経営の健全化・安定化の両立が必要
- ・ 既存の計画に基づき、路線バスの再編を進めてきたが、
コロナ禍を経て市民の生活意識や行動が変化しており、
計画の抜本的な見直しが必要



●課題の解決に向けて

- ・ 社会情勢の変化をしっかりと踏まえたうえで、
人口が減少しても、どのような方でも、利便性が高く、
住みやすい街であり、
人々がいつまでも住み続けられる街であるために、
「下関市都市計画マスタープラン」や「下関市立地適正化計画」など、
上位・関連計画との連携を図り、
まちづくりに合った持続可能な公共交通を構築するため、
現在の計画を見直し、新たに「地域公共交通計画」の策定に着手する

3. 持続可能な公共交通の構築に向けて

「下関市地域公共交通計画」の策定の方向性

- ・ 持続的な公共交通の維持・確保のため、
公共、民間やコミュニティ等の役割分担
- ・ 都市全体を見渡した効率的、合理的な公共交通網の形成
- ・ 公共交通事業者の経営の健全化・安定化について検証
- ・ 利用環境の改善による利用促進
- ・ 交通が不便な地域における移動手段の確保

